

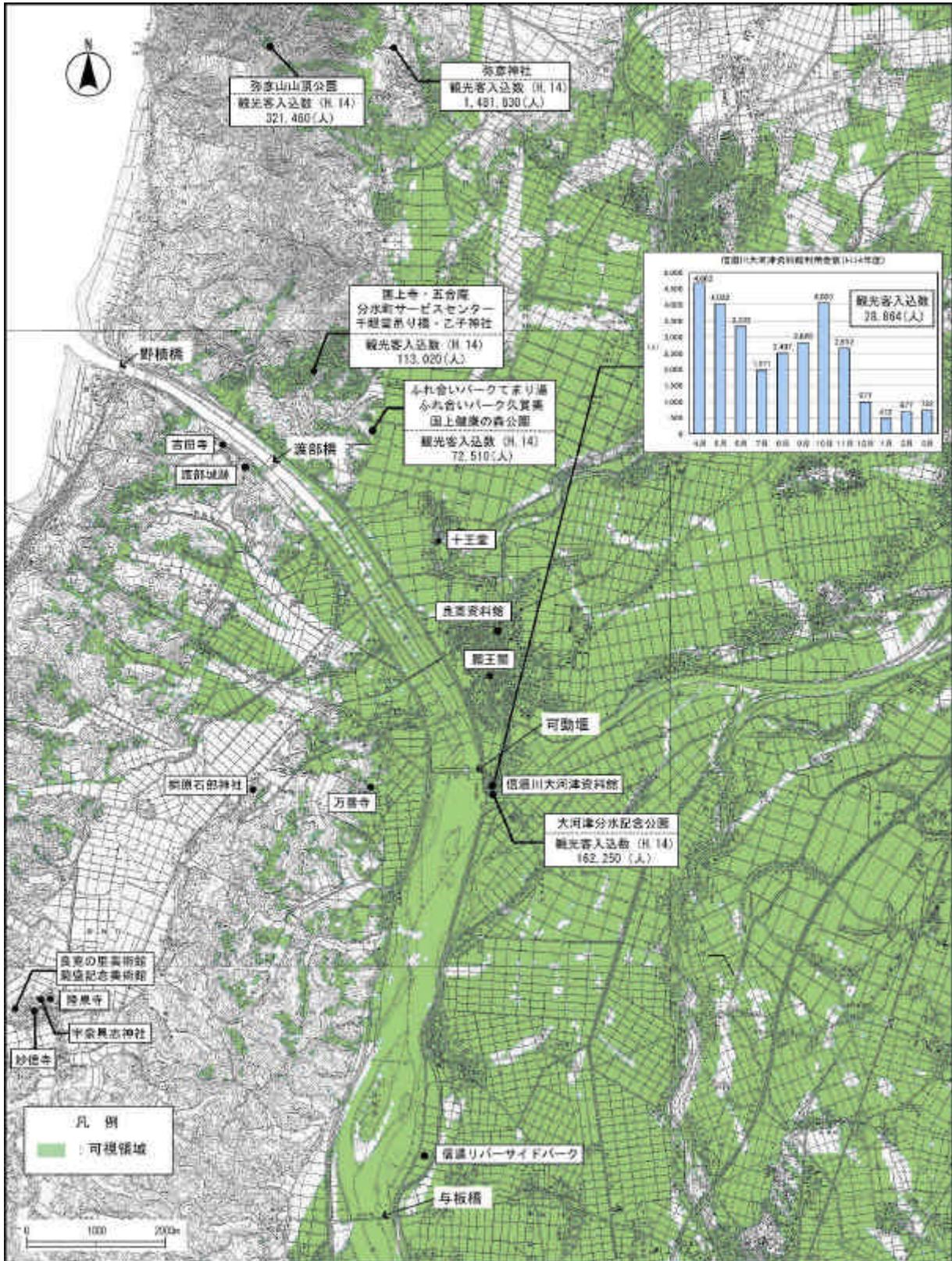
3-2-5 景観及び人と自然の触れ合い活動の状況

(1) 景 観

事業実施区域周辺の景観資源は図 3-24 に示すとおりである。大河津可動堰を中心とした周辺地域は東側には平野部が広がり、右岸側下流部には弥彦山系、左岸側には西山山地が見られる。この地域は自然景観の多く残る地域であり、良好な景観が形成されている。また、事業実施区域周辺には城跡、神社、記念館などが多数存在しており、歴史的・文化的な景観が見られるのが特徴である。

なお、第三回自然景観資源調査報告書（環境庁 平成元年）によると、山地景観として弥彦山、西山山地が、海岸景観として野積海岸、寺泊海岸、大和田海岸、出雲崎海岸、浦浜海岸がそれぞれ選定されている。

図 3-24 景観資源

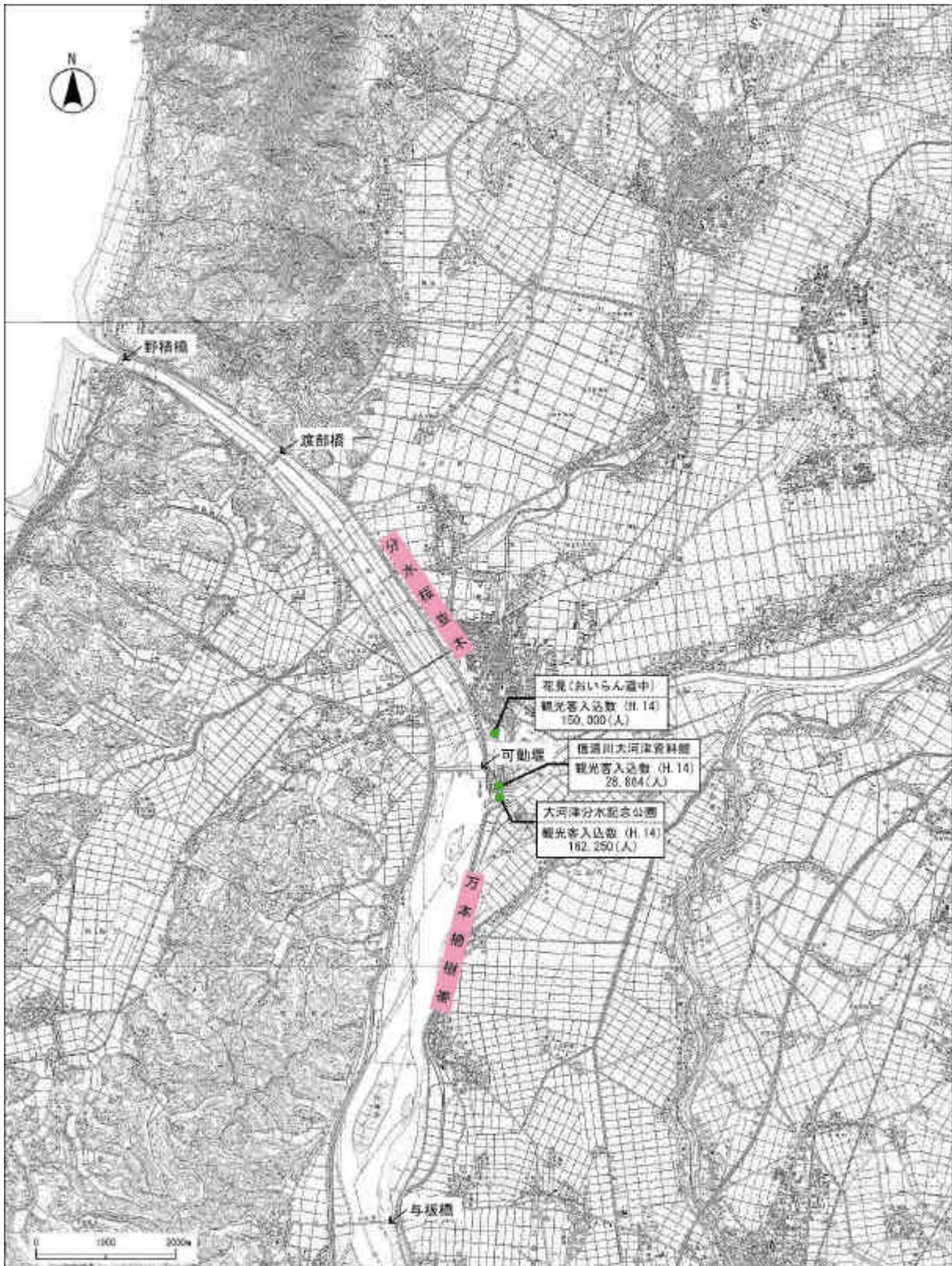


(2) 人と自然との触れ合い活動の場

事業実施区域周辺における人と自然の触れ合い活動の場は図 3-25 に示すとおりであり、大河津分水記念公園、分水桜並木道などが主な地点としてあげられる。

なお、平成 9 年度、平成 12 年度に実施された河川水辺の国勢調査結果において、分水ブロックの定点（大河津分水記念公園）調査の結果を図 3-26～図 3-28 に示す。両年ともに一年を通じて「散歩・その他」の割合が最も高く、春季の利用が最も多い。冬季は両年ともに公園利用者はほとんど見られなかった。

図 3-25 人と自然との触れ合い活動の場



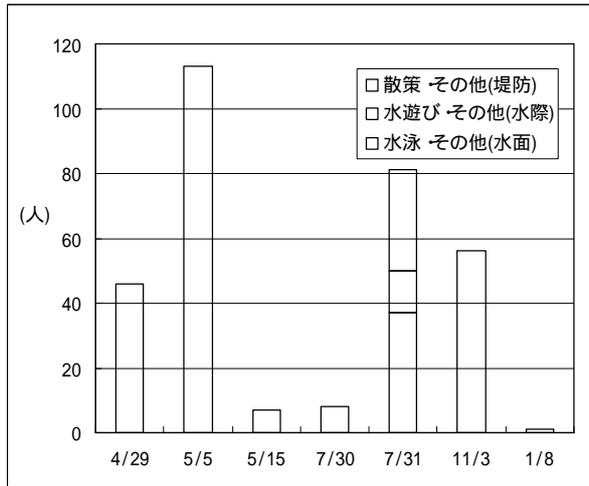


図 3-26 平成9年定点（大河津分水記念公園）観測調査結果

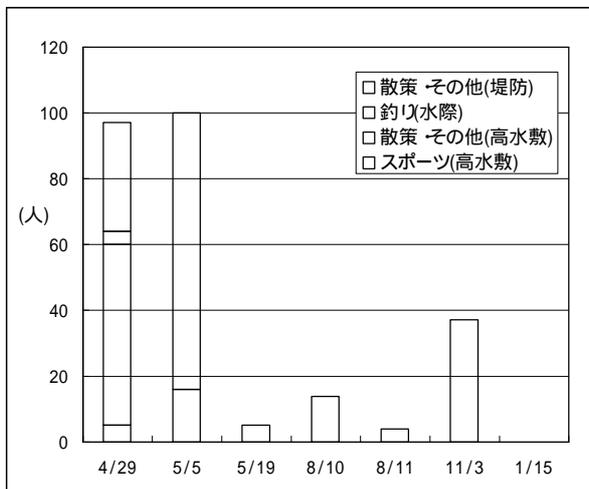


図 3-27 平成12年定点（大河津分水記念公園）観測調査結果

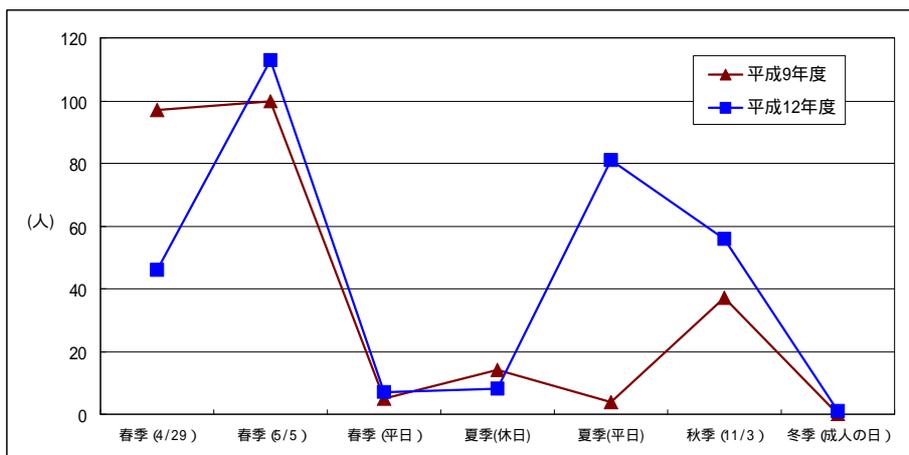


図 3-28 年度別定点観測調査結果